

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	依存症対策推進事業				事業番号	011-275	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	精神保健課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築	
			有	取組の方向性	⑤依存症対策の強化			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.5
			有	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
2	関連計画			堺市依存症地域支援計画				
3	事業開始年度			令和 2 年度	点検対象年度（個別計画）		令和 8 年度	
4	実施根拠			アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法、依存症対策総合支援事業実施要綱				

事業の概要

5 事業の実施主体		本庁、各区、出先機関						
6 事業の対象		依存症で悩む市民、及び依存症となるリスクのある市民、その他市民					対象数	単位
							-	-
7 事業の目的		依存症に関する知識の普及啓発を行い、依存症の発生・進行・再発の各段階での予防若しくは重症化の予防をめざすと同時に、状況やニーズに応じて、依存症に関する相談、受診、自助グループの利用ができるようになる環境形成をめざす。						
8 事業内容		①アルコール依存症関連問題啓発週間における啓発事業 ②ギャンブル等依存症問題啓発月間における啓発事業（大阪府、大阪市との共同事業） ③医療機関向けの依存症に関する研修事業（大阪府、大阪市との共同事業） ④依存症治療拠点、専門医療機関選定 ⑤依存症地域連携事業（ミニフォーラム）の実施 ⑥連携モデル構築事業（事例検討会）の実施 ⑦依存症対策推進懇話会の実施 ⑧依存症対策庁内連絡会の実施 ⑨堺市依存症地域支援計画（第2次）の策定業務						
		※国・府の基準より上回って実施した内容						
9 主な支出先		—						
10 公民連携・協働事業		—						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
11 依存症地域支援計画に基づく依存症対策を情報共有するための会議等の開催	回	目標値	3	3	3	3
		実績値	3	4		
		達成率	100%	133%		
当該指標を選定した理由		普及啓発や地域連携事業等を計画的に遂行していることを、依存症対策にかかる会議で確認、報告するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		依存症対策推進懇話会、地域連携事業などの開催回数。				
12 地域連携事業（堺市域版OACミニフォーラム）参加者数	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	人	目標値	40	40	80	
		実績値	55	40		
		達成率	138%	100%		
当該指標を選定した理由		依存症の本人や家族が身近な地域で切れ目のない支援を受けられるよう、市域の専門医療機関や相談機関、自助団体等が交流・情報共有・研修を行う場を創設し、顔の見える関係構築やネットワーク力の向上、支援者の資質向上を図る必要があるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市域版OACミニフォーラムへの参加者数				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	依存症対策推進事業	事業番号	011-275
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	651	1,555	5,480	4,248	5,878
	財 国支出金	317	755	2,719	2,100	2,917
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	334	800	2,761	2,148	2,961
14	人件費（b）	6,885	6,690	7,080	7,080	8,275
15	年間経費（c）=(a)+(b)	7,536	8,245	12,560	11,328	14,153

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	謝礼金	R7 決算	308	154	依存症対策に関する市民意識実態調査業務委託料	R7 決算	2,534	1,267	
			R8 予算	760	380		R8 予算	0	0	
	普通旅費		R7 決算	46	46	依存症地域支援計画策定支援業務委託料	R7 決算	0	0	
			R8 予算	42	42		R8 予算	3,317	1,659	
	消耗品費		R7 決算	49	25	会場等借上料	R7 決算	0	0	
			R8 予算	50	25		R8 予算	47	24	
	通信運搬費		R7 決算	24	12		R7 決算			
			R8 予算	57	29		R8 予算			
	依存症対策事業負担金（啓発、研修）		R7 決算	1,287	644		R7 決算			
			R8 予算	1,605	802		R8 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分		単位	令和6年度		令和7年度	
		①	②					
17	①	地域連携事業（堺市域版OACミニフォーラム）参加者数		人	55		40	
	②	上記①にかかる年間経費		千円	872		884	
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	15,855		22,100	
	算出についての説明等		OACミニフォーラムに係る講師謝礼、研修案内郵送料、消耗品費、人件費を計上。					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和4年度に堺市依存症地域支援計画を策定し、専門医療機関の充実や、関係機関等の連携の場を創設することなどを目標として掲げた。本事業は依存症に関する知識の普及に加え、医療・福祉・司法・行政等の関係者間における「顔の見える関係性」の構築が進み、日常業務における相談対応や支援連携の円滑化につながっている。このようなネットワークの形成は、単発の研修では得にくい効果であり、継続して実施することによって、地域全体の支援力の向上に寄与している。 令和7年度は、プログラムを効果的に運営するため、定員を40名に減らしたことにより単位当たりの経費が増加している。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	基本計画2025では、重点戦略の（6）暮らしを支えるセーフティネットの構築「依存症対策の強化」を掲げている。令和4年3月に「堺市依存症地域支援計画」を策定し、専門医療機関の充実や、関係機関等の連携の場を創設することなどを目標として掲げた。その中で、依存症支援体制の構築の一環として、令和7年度も堺市域版OACミニフォーラムを開催し、支援者への依存症に関する知識の普及や、交流会を通じての顔の見える関係性の機会として取り組み、参加者数の目標値を達成した。本計画は令和4年度からの5年計画であり、令和7年度は計画評価年度に当たることから、これまでの取組の進捗状況を踏まえた課題整理や改善点の確認が可能となっており、施策の実施は計画の方向性に合致している。 また、各依存症のなかでもアルコール依存症は、市民にとって最も身近であり、アルコールの習慣的で過剰な摂取や、依存症の状態になることは、肝臓病やがんなどの身体疾患、不眠症、うつ病になるリスクが増大する。うつ病は自殺における大きなリスク要因であることから、予防や医療的、福祉的な支援が必要である。このように依存症と自殺との関連性は深いことから、「堺市依存症地域支援計画」においても、自殺対策を盛り込んでいる。以上により、堺市基本計画2025における「自殺死亡率14.2の達成」にむけて寄与したものと考える。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	専門医療機関の充実及び関係機関の連携強化に取り組んできた結果、依存症専門医療機関については、計画策定時の1医療機関から3機関5か所へと拡充され、依存症支援体制が構築されている。また、関係機関の連携強化については、令和4年度から堺市域版OACミニフォーラムを継続的に開催し、医療・福祉・司法・行政等の多様な関係者が参加する交流の場を確保している。参加者数の推移や事例検討会の実施等により、関係者間のネットワークが強化されており、有効性があると評価できる。
	有効性	■ 高い □ 低い	